

# 0歳から18歳までの一貫教育のまち 『おおつち一貫教育推進』かわら版

大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。

令和6年6月27日(木) No.21

文責

教育委員会学務課 吉田

## ○対話によって創られた、そして対話によって未来を創っていく大槌町の教育再確認!!

26日(水)に行われた「令和6年度『大槌の教育』推進協議会全体研修会」に参加させていただき、先進地視察の報告、菅野先生の講話、熟議と盛りだくさんの内容でしたが、先生方のお陰で充実した時間を共有させていただきました。

先進地視察では、それぞれの地域の特色に合った小中一貫校を模索しながら創っていることをわかりやすく説明いただいた先生方に感謝いたします。ありがとうございました。

以前、京都で行われた小中一貫教育全国サミットの時に、義務教育学校と一緒に視察した先生が、目を輝かせて力強くお話しされたことを思い出しました。「やっぱり外に出ないとわかりませんね。明日から大槌学園でできることがたくさんありました。大槌学園をもっともっとよくしたいです!!」

今年度は、9月に広島県府中市で小中一貫教育全国サミットが行われます。一人でも多くの先生方に参加していただきたいと思っています。

菅野先生の講話では、震災後13年間にわたり、大槌町の教育に携わってきた強い思いを感じました。大槌町の教育は対話(熟議)によって創られてきたこと。そして、これからも対話(熟議)を大切にしていきたいと思いますという強いメッセージが込められていました。今回の熟議は、昨年度1月に行われた木村先生の講演の所感に、先生方から「参加した先生方ともっと大槌の教育について対話があった。」という多くの意見から実現したと聞いています。大槌の教育の未来を創る文化である対話(熟議)の大切さを再確認できた場となりました。



大槌町の教育大綱は、600人もの  
方々の思いが込められていたんだね。



### 先生方の感想から

・報告の中で印象に残ったことは、春日学園の方針で「15歳をゴールとして、途中で低下したり迷ったりしてもよい」という考え方です。「点」で子どもを過大・過小評価してしまいがちですが、義務教育が終了するころにどのような姿をめざしていけばよいのか、明確にゴールを見据えて長期的な目線で子どもを育てていけたらと思いました。

・「対話によって未来をつくる」という言葉が印象的だった。未来をつくっていくために、今を大切に子たちと向き合っていく意識を持って自分自身もやってきたつもりなので、勝手ながら共感した。それをより実現していくためには、対話が大事ということも、改めて感じる事ができた。

・まさに対話で未来を創る体験をしました。久しぶりに何か想像していくような対話をしたように思います。とても楽しかったです。子どもたちにも、このような体験をたくさん用意したいと感じました。

・今回の研修を通して、改めて対話の大切さや、義務教育学校、大槌の魅力を確認することができました。現状に満足せず、今の大槌の課題をふまえ、新たなものを創っていける教員でありたいと思いました。グループで考えたキャッチコピーを胸に、明日からも精一杯教育に励んでいきたいです。

・先生方と対話する時間が心地よく感じました。また、対話する時間を普段あまりとれていないということも実感しました。忙しい日々ですが、工夫しながら時間を確保できるように努めていきたいと思えます。

## 大槌町教育大綱策定に向けた教員熟議

グループメンバー  
氏名:

---

### Keep

(大槌の教育(学校)として大事にし続けるべき思い、取り組み)

地域とのつながり  
→ 震災学習をもとに行う。  
→ コミュニティスクール

### Problem

(大槌の教育(学校)として課題となっていること)

世界中を知らず  
外に目を向ける  
大槌と盛岡は隣  
人の間隔が  
コミュニケーション

### Try

(新たに取り組みたいこと  
個人として・学校として・行政として)

型にはめず  
(もがれ) 教師も受も  
子どもにも考えの幅を  
もたせろ

対話の  
ために...  
コミュニケーション  
子ども 教員  
地時  
他学年との交流の  
ホリスティックな  
相対視  
の年生に  
の年生に  
の年生に

---

### キャッチコピー

(大槌の教育で今後大事にすべきこと)

**「つなぐ」** 対話を通して人とつながる  
地域とつながる  
未来とつながる

キャッチコピーに込めた思い

大切なのは「対話」。コミュニケーション能力を育て、自分の言葉で語り視野を広げていく。それによって人、地域、未来とつながっていく。

## 大槌町教育大綱策定に向けた教員熟議

グループメンバー  
氏名:

---

### Keep

(大槌の教育(学校)として大事にし続けるべき思い、取り組み)

ふむと科と  
相互愛と育  
とにかかやってみ  
思いついたらやる  
(課題と  
とれる)

地域とのつながり  
地域と  
つながる  
地域との  
連携

### Problem

(大槌の教育(学校)として課題となっていること)

補教を  
考えるのが  
大変  
教員の休みの  
場がない  
放課後の  
時間がない  
人がいるのに  
人手不足  
裁量の時間  
がない  
→ 休み時間の  
確保  
子どもに教える  
ことについて  
考える時間  
の確保  
情報モラルが  
身につけて  
いない  
学力が低い  
学力が低い  
(幅がある)  
家庭教育力が  
低い  
学業  
特長  
正しい行動への  
価値づけ  
感謝の気持ち

### Try

(新たに取り組みたいこと  
個人として・学校として・行政として)

働き方改革  
教師の  
働き方  
改革  
どの教員にも  
あき時間

地域とのつながりを生かし  
学力・家庭教育力の向上を図る  
仕事の精査と図り、子どもや教材  
の作成時間  
研究・裁量の時間と確保する。  
(学校として)

---

### キャッチコピー

(大槌の教育で今後大事にすべきこと)

**学校・地域・家庭のトリプルハンマー**

キャッチコピーに込めた思い

家庭教育力は学校だけではカバーできないので、地域と協力して諸問題に対応していく

### 大槌の教育で今後大事にすべきこと(キャッチコピー集)

- 鮭の子 槌の子 元気な子 ○ サーキュレーション(circulation) ○ 先取果敢!!
- やめられない、とまらない、歩み ○ 来る者拒まず、去る者逃がさず!!
- Feel the new wind. ~世界とつながり、情熱を燃やし、自分を変革しよう~
- for children Glocal for teacher 断捨離 ○ まずやってみよう! Help Me!
- わくわく大槌大作戦 ~おしゃっちでしゅわっち!~ ○ Wonderful 大槌

